

新興国レポート

アジア各国の外貨準備 増加

自国通貨高抑制のため為替介入も活発に

- アジア各国の政府や中央銀行が保有する外貨準備が一段と積み上がりつつある。経済発展に伴う資本流入の増加がけん引役に。
- 資本流入により対外支払い能力が向上するも、緩和を続けてきた米欧金融政策が引き締め方向に動いた場合など、通貨の急落懸念も残る。

アジア各国の政府や中央銀行が保有する外貨準備が一段と積み上がっています（図表1）。今後の成長期待から多額の投資マネーがアジア各国に流入しており、自国通貨の急激な上昇を抑えるためのドル買いの為替介入も活発となっているようです。アジア各国の外貨準備の増加は、域内経済・金融の安定により、通貨危機などへの対応力が高まっていることを反映する一方で、米欧が金融引き締めに動いた場合などに混乱に見舞われるというリスクも懸念されます。

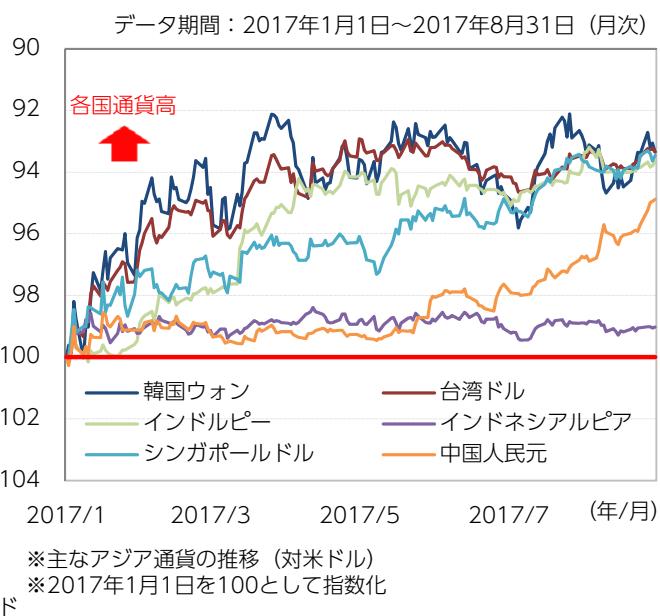
世界最大の外貨準備保有国である中国は2017年7月に3兆800億ドルと6ヵ月連続で増加しました（図表1）。昨年末頃まで下落していた人民元相場が落ち着きを取り戻し、外貨準備を取り崩してドル売り・人民元買いの介入が必要なくなったためとみられます。アジア諸国全般において外貨準備の伸びが大きいのは、経済発展に伴い活発に各国に資本が流入しているためと考えられます。資本流入により対外的な支払能力が向上し通貨も安定する一方で、巨額のマネー流入が通貨価値を押し上げるため、各国とも介入により通貨の上昇圧力を抑え込まざるを得なくなっているようです（図表2）。

通貨の急落懸念には注意が必要であると考えます。アジア域内は経済発展により大型のインフラ投資が活発であることから、海外より資金が集まるものの、返済リスクが意識されることから比較的短期の融資が多いというのが現状です。仮に、一度資金流出が始まると、資金調達困難に陥るケースが懸念されます。また、これまで異例の緩和を続けてきた米欧金融政策が本格的に引き締め方向に動いた場合も、大量に資金流出することが予想されます。

図表1：外貨準備は6ヵ月連続で増加



図表2：資本流入により通貨上昇を抑制する動きも



●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ、数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧説するものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会